

専門・認定看護師会ニュースレター

アルコール消毒が効かない感染症～ノロウイルス感染症～

新型コロナウイルスが発生してから早3年目を迎えました。その間、人々はマスクの装着とアルコール消毒するということが習慣化してきていますが、最近コロナ前の水準まで増加している感染症があります。それが「**感染性胃腸炎**」で、例年1月～2月に毎年ピークを迎えます。ノロウイルス感染症の感染ルートや症状に関しては以下の図の通りになります。



ノロウイルス感染症の感染予防策

【手指衛生】

ノロウイルスはアルコールに耐性があるため、手指衛生は「**流水と石鹸での手洗い**」が基本となります。ノロウイルスは下痢症状が落ち着いたとしても1ヶ月以上ウイルスが排泄されるため、長期間に渡り感染予防策を行う必要があります。

【日常清掃】

日常清掃に関してアルコール消毒は効果が乏しいことから、院内に関しては0.1%次亜塩素酸ナトリウム又はルビスタ®を用いて清拭消毒をしてください。

【吐物・汚物が付着した、患者の衣服について】

患者個人の衣服は家族に持ち帰ってもらい、他の衣服と分けて最後に洗濯してください。また、1回洗剤洗いをしてから漂白剤を入れ洗濯します。ランドリーの使用はなるべく控えてください。

【食器の取り扱い】

吐物のついた食器はビニール袋に0.1%の次亜塩素酸ナトリウム液を作り、食器を入れ10分浸漬させ、別のビニール袋に入れ下膳します。

※その他詳細については院内感染防止マニュアルP.84～P.93をご参照ください。